

# 分析結果報告書〔1〕 1 / 2

## 1. 1 水質試料 (COD)

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得（複数回答可）	1. ISO 9001~9003 2. ISO/IEC 17025(か`卜`25) 3. MLAP 4. 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格 5. (上記1~4を取得していないが)品質マネジメントシステム(QMS)を構築している
分析主担当者名	
分析主担当者の経験年数	( ) 年
分析主担当者の実績 (年間の分析試料数)	( )
分析(主)担当者以外の分析結果の確認	1. あり 2. なし

### <分析結果>

回数	分析結果 (mg/L) 注1)	検出下限値未満での検出下限値 注3)
	検出下限値以上 注2)	
1回目		
2回目		
3回目		

注1) 実施要領5の希釈方法に従って共通試料1を水で20倍希釈して調製した分析用試料中の濃度 (mg/L) を記入する。  
記入にあたっては、記入間違いや単位間違い等がないように注意する。

「分析結果」については、「検出下限値以上」又は「検出下限値未満での検出下限値」のいずれかを記入する。

注2) 検出下限値以上であった場合、分析結果を有効数字3桁で記入する。

注3) 検出下限値未満であった場合、検出下限値を有効数字1桁で記入する。

### <分析方法等>

分析開始月日	月 日
分析終了月日	月 日
分析方法	1. 滴定法 2. その他 ( )
使用した水	1. 蒸留水 2. イオン交換水 3. 超純水 4. その他 ( )

### <測定条件等>

試料量 (分析用試料の分取量)	( ) mL
銀塩の使用 種類	1. 硝酸銀溶液(200g/L) 2. 硝酸銀(粉末) 3. 硫酸銀(粉末) 4. その他 ( )
添加量 注4)	( ) mL又はg
添加後のかく拌 注5)	1. 手動振り混ぜ ( ) 分間 2. マグネチックスタラーを使用 ( ) 分間 3. その他 ( )
水浴中の温度	最初 ( ) °C 15分後 ( ) °C 30分後 ( ) °C
標準原液 (過マンガン酸カリウム溶液)	1. 購入 2. 自作 1. の場合のメーカー ( ) 1. の場合の濃度 ( ) mmol/L
5mmol/L過マンガン酸カリウムのファクター	( )
5mmol/L過マンガン酸カリウムの滴定量 試料の滴定量	1回目 ( ) mL 2回目 ( ) mL 3回目 ( ) mL
空試験の滴定量	( ) mL
検出下限値 注6)	( ) mg/L

注4) 硝酸銀溶液(200g/L)ではmL、硝酸銀(粉末)又は硫酸銀(粉末)ではg単位で記入する。

注5) 添加後のかく拌方法と時間を記入する。分単位で記入する (例えば、30秒では0.5分間とする)。

注6) 試料中のCOD濃度 (mg/L) を示す。

# 分析結果報告書〔1〕 2 / 2

## < 試料の保存状況 >

保存状況	保存方法等	1. 冷暗所保存	2. 保存しない (直ちに分析)	3. その他 ( )
	保存時間 注7)	約( )時間		
	保存温度	約( )℃		

注7) 時間単位で記入する (例えば、60分では1時間とする)。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--